

今日の力

編集 野口恵美子

御茶の水キリストの教会

アン・K・ヤング
コロラド州 モニュメント

6月27日(火)

最も低いところを選ぶ

聖書朗読 ルカ 14 : 7~14

あなたがたひとりひとりに言います。だれでも、思うべき限度を越えて思い上がってはいけません。

ローマ 12 : 3

アフリカの国ルワンダからやって来たカップルのために、私の故郷コロラドで結婚式を挙げたいと依頼されたことがありましたが、その式で私は自分が特別な存在のような気になっていました。妻と私は式の執り行われるすぐ傍の上座に座り、注目を浴び、他の参列者たちよりも先にもてなしを受けることで上機嫌になっていました。このことは私のエゴに訴えるものでした。けれども、イエス様はそうのように特別な存在として認められたいと願うことについて警告しておられます。

ルカは、婚礼の宴で最も良い席を取る招待客をイエス様がどのようにご覧になっているかについて記していますが、それは、そのような姿勢は恥ずかしい結果を招くというものです。もしその宴の係の者が、私たちが誰か他の主賓の席に座っているのを見つけたら、私たちは、もっと大切な方の為にその席を空けて下さいと、他の客たちの前で言われるかもしれません。そして残っている席がその部屋の後方のあまり嬉しくない席であつたら、私たちは他の人たちの前で恥ずかしい思いをすることとなるでしょう。私たちはそのような姿勢をやめ、あまり光栄とは思われない場を嫌がらず自ら進んで選ぶべきです。

イエス様は、自らを低くする者は、「褒め称えられる」と言っておられます。神様は私たちが相応の評価を得られるようにしてくださると信じていくことが出来るでしょうか。

讃美歌 227

祈り 全能の神様。どうか私たちがあなた様を信頼し、あなた様が私たちをどれほどかけがえのない存在としてくださっているかということに気付かせてください。イエス様のお名前によって。アーメン。

ロバート・P・リー
コロラド州 オーロラ

6月28日(水)

木の上の小さな男

聖書朗読 ルカ 19 : 1~10

人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。

ルカ 19 : 10

小学一年生たちがステージに現れ、イエス様に扮した衣装をまとった小さな男の子が、段ボールで作った木の陰に隠れたもう一人の男の子に言いました。「ザアカイ。急いで降りてきなさい。きょうは、あなたの家に泊まることにしてあるから。」何と素晴らしい物語でしょう。けれどもこれは子供たちに限ったことではありません。

この物語が世代を超えた人々の心に訴えるのは、私たちには少なからずザアカイに似たところがあるからではないでしょうか。ザアカイは取税人でありイスラエルの民からすれば敵のような存在でした。彼はまた、イエス様に従う可能性が最も低いと思われる者のひとりでした。邪（よこしま）な判断をし、不正を行っていたザアカイは、自らの生き方を変える必要がありました。ザアカイはイエス様の事を聞きつけ一目見たいと思い、イエス様が通られると思われた場所の近くの木に登りました。イエス様が彼に降りてくるように言われ、彼の家に行くと言われたとき、ザアカイは驚いたに違いありません。イエス様はここで、人から良く言われていない者に親切と親しみを示されただけではありません。ザアカイにその生き方を変えさせ、信仰をもって従順に歩むようになる機会をお与えになったのです。

讃美歌 341

祈り 親愛なるお父様。私たちもザアカイと同じように自らの生き方を変え、より良い業をなす者になる必要があります。私たちが第二の人生を歩むことができるようにくださり感謝します。イエス様のお名前によって。アーメン。

フィリップ・エイマン
サウスカロライナ州 イルモ

6月29日(木)

最後にできること

聖書朗読 ルカ 19 : 12～13

その結果、あなたがたはどんな賜物にも欠けるところがなく、また、熱心に私たちの主イエス・キリストの現れを待っています。

I コリント 1 : 7

イエス様のことを思うとき、私たちはたいいてい、そのご誕生、宣教活動、奇跡、教え、受難、甦りそして昇天について考えているのではないのでしょうか。恐らくあなたもそのことに気付くでしょう。けれども再臨についてはどうでしょう。

聖書は再臨を決して軽んじていません。むしろ私たちに再臨についてよく考えるよう促しています。聖書には、「けれども、私たちの国籍は天にあります。そこから主イエス・キリストが救い主としておいでになるのを、私たちは待ち望んでいます。」(ピリピ 3 : 20) とあります。

聖書には「今からは、義の栄冠が私のために用意されているだけです。かの日には、正しい審判者である主が、それを私に授けてくださるのです。私だけでなく、主の現れを慕っている者には、だれにでも授けてくださるのです。」(II テモテ 4 : 8)、
「祝福された望み、すなわち、大いなる神であり私たちの救い主であるキリスト・イエスの栄光ある現れを待ち望むようにと教えさとしたからです。」(テトス 2 : 13) とありますから、私たちは再臨を待ち望みます。

私たちには不思議と思われる多くの事が私たちを待ち受けていますが、聖書ではそうした出来事を、信ずる者には美しく喜びに溢れ報いがもたらされるものとして描かれています。あなたも信ずる者ですか。そうであれば恐れるものは何もなく、多くを待ち望みましょう。

讃美歌 173

祈り 主なるイエス様、来てください。救い主の名によって。アーメン。

パット・アンドリュース
テキサス州 アビリン

6月30日(金)

共にいてください

聖書朗読 ルカ 24 : 17～29

それで、彼らが「いっしょにお泊り下さい。そろそろ夕刻になりますし、日もおおかた傾きましたから」と言って無理に願ったので、イエスは彼らと一緒に泊まるために中に入られた。

ルカ 24 : 29

礼拝で友人に「イエス様は招かれてもいないところに留まると思うか」と聞かれました。私は、イエス様は招かれないところに留まることはないと思います。イエス様は私たちの歩みに割り込んで来られるようなお方ではありません。招かれたときにのみやって来られ、扉の前に立たれて扉を叩かれ、決してあなたの人生に押し入って来られることはありません。

このことは、イエス様がゲラサ人の地方に行かれ、人々がイエス様を拒んだことが記されてるルカ 8 章の物語から分かります。イエス様は舟に乗られ帆に風を受けて、来られた時と同じように静かに去って行かれました。イエス様は「だれでもわたしを愛する人は、わたしのことばを守ります。そうすれば、わたしの父はその人を愛し、わたしたちはその人のところに来て、その人とともに住みます。」(ヨハネ 14 : 23) と言っておられます。私たちは、「共にいてください。」と絶えず叫びます。

神の変わることはない愛を信ずる者は
何ものにも動かされない岩の上に立つ

- George Neumark -

讃美歌 240

祈り 親愛なる神様。あなた様が私たちに近づいてくださるということを信頼し、あなた様に私たちも近づかせてください。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

ウィリアム・E・マクドノー
ミャンマー ヤンゴン

7月1日(土)

素晴らしい救い主

聖書朗読 ヨハネ 1 : 29~34

見よ。世の罪を取り除く神の子羊。

ヨハネ 1 : 29

イエス様は、私たちにお与えになりさらに増し加えてくださいますが、同時に、差し引いてくださることもあります。イエス様は永遠の平安と溢れる喜びを私たちに与え増し加えてくださり（ヨハネ 10 : 10、14 : 27）、私たちがイエス様に信頼し従うとき、イエス様は私たちの物質的また霊的な恵みを増し加えてくださいます。ペテロが「私たちは、何もかも捨てて、あなたに従ってまいりました。」と言った時、イエス様はこう言われました。「まことに、あなたがたに告げます。わたしのために、また福音のために、家、兄弟、姉妹、母、父、子、畑を捨てた者で、その百倍を受けない者はありません。今のこの時代には、家、兄弟、姉妹、母、子、畑を迫害の中で受け、後の世では永遠のいのちを受けます（マルコ 10 : 29~30）。」

一方で、神様、イエス様が同時に差し引いてくださることも感謝します。バプテスマのヨハネはイエス様を、「世の罪を取り除く（29 節）」救い主と呼んでいます、主にあって私たちは罪、過ち、恥じを取り除かれます。それによって、私たちは、平安、喜び、増し加えられた恵みを見出すのです。

神は恵みを賜るお方
その愛の力は
教会そして私たちの魂のうちに働かれる
- Evelyn Underhill -

讃美歌 309

祈り 主よ。私たちの罪と恥を取り除いてくださることを感謝します。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

エドワード・J・ロビンソン
テキサス州 テレル

7月2日(日)

多くの奇跡

聖書朗読 ヨハネ 2 : 1~12

私たちにではなく、主よ、私たちにではなく、あなたの恵みとまことのために

詩篇 115 : 1

「わたしの時はまだ来ていません。」とイエス様は母マリアに言われました。この時マリアは、カナの婚礼で、新郎新婦には気付かれないうちに、イエス様が驚くことをしてくださるに違いない思っていたところ、イエス様がなかなか動かれないので、待っていられなくなり、給仕たちに「あの方が言われることを、何でもしてあげてください。」と言いました。この時イエス様の考えておられた時は、まだ来ていなかったのかもしれませんが、イエス様はある意味、良い息子として熱心な母の願いを受け入れて動かれたのでしょう。

結局イエス様は主催者も招待客も誰も気づかない問題を解消されました。宴の世話役は新郎が最後に最も良いぶどう酒を取っておいたのだと思いました。宴の招待客たちは一生に一度の極上ぶどう酒を飲んでいいることに気付かなかったでしょう。このことは、水を汲んだ手伝いの者たちだけは知っていました。この小さな出来事で、イエス様は「栄光を表わし」、そして「弟子たちは彼を信じた」のです。

イエス様のなされた多くの驚く出来事の最初のしるしを見た者は少数でしたが、このことは、イエス様の働きにおいて常に見られることです。慎ましく仕える者がしるしを伝える者となり、イエス様に従う弟子たちの信仰が深められていきます。この世は、気付かずに恵みを頂いているのです。

讃美歌 502

祈り 主よ。どうか今日、信仰の弱い人たちのために小さな働きをするよう、あなた様に呼ばれるその時のために、私たちを備えさせてください。また、私たちの信仰の弱さのゆえに、あなた様がご自身を表わしてくださる多くの機会に気付かせてください。イエス様のお名前によって祈ります。アーメン。

ディヴィッド・レムリー
カリフォルニア州 マリブ